

## No. 19 適正利用に向けた管理と取組 調査結果まとめ

本資料は、モニタリング項目 No. 19 調査シートの結果を簡易的にまとめたもの。

### (1) 利用のコントロール

継続的に実施されている取組としてカムイワッカ地区のマイカー規制が代表的である（1999 年～）。2011 年からは知床五湖利用調整地区制度が開始され、ガイドの育成や活用、利益の還元などの取組にも波及していると考えられる。

### (2) 守るべきルールの設定と指導

2010 年度にエコツーリズム検討会議が設置され、利用に関する合意形成の場が整備された。2015 年度には先端部地区利用の心得の点検など既存ルールの見直しも行い、内容の拡充が進められている。新たなルール設定に加えて、監視員の配置や管理機関による巡視、スノーモービル乗り入れの取締りなど、地域に根付いたルールの運用も関係機関の定常的な業務として継続されている。

### (3) 情報発信

関係団体がそれぞれウェブサイトやパンフレット、施設運営等を通じた情報発信に取り組んでいる。特にヒグマに関する取組が増加し、発信する媒体の多様化に加えて「ヒグマの餌やり禁止キャンペーン」など地域を巻き込む動きも生まれた。また、SNS 等の活用によりリアルタイム情報の提供も活発化した。

### (4) ガイドの育成とガイド利用の推奨

知床五湖登録引率者の育成制度が継続的に実施されている。また、厳冬期の知床五湖エコツアーや赤岩地区昆布ツアーにおいて、エコツーリズム戦略で提案された新たな利用が試行・実施されている。

### (5) 文化的資産等の活用

斜里ではナショナルトラストにより取得した資産（運動地）の公開事業を、羅臼では伝統的な羅臼昆布漁の魅力を伝えるエコツアーを実施しており、各町とも保全に留意した文化的資産等の活用が進められている。

### (6) 利益の還元

2010 年度と比較して近年取組が進行しつつある。特に 2014 年には収益の環境保全への還元等をテーマとした知床ウトロ海域環境保全協議会が発足し、ケイマフリをシンボルとした保全事業が行われている。

### (7) 施設整備

2010 年度は主として道路の法面補修や災害防止に係る工事が実施され、安全に観光するための基盤が整備された。2015 年度にかけては羅臼湖歩道や羅臼岳登山道の修復工事等が行われ、自然環境の

保全再生や利用分散に向けた維持管理が進められた。また、利用拠点となる知床自然センターも 2015 年より全面改修が実施された。

(8) モニタリング

総合的かつ定期的な調査として利用状況調査が毎年実施されている。また、「羅臼海域の利用適正化に向けた調査」「ヘリコプタークルージング騒音調査」「五湖冬季適正利用調査」など、発生した課題や新たな取組の開始に併せて各種調査が実施されており、観光客の評価やニーズ、行動特性の変化等に応じたモニタリングが進められている。

モニタリング項目 No.19 調査シート

エコツーリズム戦略 9. 具体的方策	2010 年度 (H22)				2015 年度 (H27)				2017 年度 (H29)			
	新規/継続	内容	白書掲載頁	備考	新規/継続	内容	白書掲載頁	備考	新規/継続	内容	白書掲載頁	備考
(1) 利用コントロール  自然環境の保全、観光客の安全確保、原始性の保持、付加価値の向上等の目的に応じた利用コントロールが実施されているか。	継 1999- 新	カムイワッカ地区マイカー規制の実施 知床五湖利用調整地区導入準備（実証実験）	P. 12 P. 6, 87	70 日間 31 日間	新 継 1999- 継 2011- 継 2011-	スカイバスツアーの実施 カムイワッカ地区マイカー規制の実施 知床五湖利用調整地区制度の運用 硫黄山登山道道路特例使用	P. 54 P. 58, 69 P. 70 P. 57	22 日間 25 日間 7 カ月間 96 日間	継 1999- 継 2011- 継 2011-	カムイワッカ地区マイカー規制の実施 知床五湖利用調整地区制度の運用 硫黄山登山道道路特例使用	P. 58, 69 P. 70 P. 57	30 日間 約 7 カ月間 100 日間
(2) 守るべきルールの設定と指導  自然環境の保全、観光客の安全確保、地域の文化・生活への配慮等の目的に応じたルールが設定されているか。また、それらのルールの指導が行われているか。	新 新 継 1984- 継 継 継	適正利用・エコツーリズム検討会議の設置 ヒグマ保護管理方針検討会議の設置 知床岬の利用規制に関する申し合わせの行政機関合同巡視 スノーモービル、航空機乗入れ規制の巡視・取締り カムイワッカ地区の監視員配置 管理機関による巡視	P. 7, 97- 98 P. 7, 97 P. 91 P. 91 P. 91 P. 91	140 人日 1,891 人日	新 新 継 1984- 継 2009- 継 2012- 継 継 継	北海道知床世界自然遺産条例の制定 ヒグマ保護管理方針の点検と見直し 先端部地区利用の心得の点検 知床岬の利用規制に関する申し合わせの行政機関合同巡視 羅臼海域の利用適正化に向けた調査 ヒグマ保護管理方針に基づく安全対策の実施 スノーモービル、航空機乗入れ規制の巡視・取締り カムイワッカ地区の監視員配置 管理機関による巡視	P. 4, 74 P. 25 P. 54 P. 72 P. 62 P. 66 P. 73 P. 71 P. 7-11	66 日間 2,426 人日	新 継 1984- 継 2012- 継 継 継	第 3 期知床世界自然遺産地域多利用型統合的 統一的な管理計画の策定 知床岬の利用規制に関する申し合わせによる行政機関合同巡視 ヒグマ保護管理方針に基づく安全対策の実施 スノーモービル、航空機乗入れ規制の巡視・取締り カムイワッカ地区の監視員配置 管理機関による巡視	P. 40 P. 72 P. 66 P. 73 P. 71 P. 5-9	66 日間 190 人日
(3) 情報の発信  地域主体のエコツアーの増加や守るべきルールの周知を目的とした情報発信が行われているか。	新 新 継 継 継	知床自然遺産登録 5 周年記念事業の実施 先端部地区利用の心得普及のための web サイトの作成 Web やパンフレット等を通じた普及啓発 利用施設等での情報提供、情報発信 携帯トイレの普及（リーフレットの作成）	P. 6, 91, 93 P. 89, 95 P. 95 P. 91-95 P. 95		新 新 継 2012- 継 2013- 継 継 継	知床自然遺産登録 10 周年記念事業の実施 外国人旅行者向け情報発信の強化事業の実施 ヒグマ保護管理方針に基づく情報周知 ヒグマ餌やり禁止キャンペーンの実施 Web 等を通じた普及啓発 利用施設等での情報提供、情報発信 携帯トイレの普及（リーフレットの作成） ヒグマ注意喚起メールの配信、チラシの作成及び新聞への折り込み	P. 3, 73 P. 54 P. 66-67 P. 73 P. 73 P. 73-74 P. 72 P. 73		新 新 継 2015- 継 2013- 継 2012- 継 継 継 新	ヒグマ情報をレクチャーや web で発信 日本語+英語表記の登山道マップ販売 外国人旅行者向け情報発信の強化事業の実施 ヒグマ餌やり禁止キャンペーンの実施 ヒグマ保護管理方針に基づく情報周知 利用施設等での情報提供、情報発信 携帯トイレの普及（リーフレットの作成） 寄付金を活用したレクチャーの実施やパンフレット配布 ヒグマ注意喚起メールの配信、チラシの作成及び新聞への折り込み カムイワッカ・シャトルバスに関するチラシの作成及び配布	P. 66-67 P. 54 P. 54 P. 66 P. 66-67 P. 68-69 P. 71 P. 73 P. 73 P. 70	
(4) ガイドの育成とガイドの利用推奨  ガイドの育成が行われ、ガイド利用が推奨されているか。	継 2008- 継	知床五湖の冬期利用 知床五湖登録引率者の育成	P. 11-12 P. 89		新 継/変 2008- 継 2010- 継 2014-	知床五湖の早朝利用の実施 厳冬の知床五湖エコツアー事業の実施 知床五湖利用調整地区制度による登録引率者の新規養成（3 名）・登録（30 名） 赤岩地区昆布ツアー事業の実施	P. 54 P. 73 P. 70 P. 53		継/変 2008- 継 2010-	厳冬の知床五湖エコツアー事業の実施 知床五湖利用調整地区制度による引率者の登録	P. 54, 56 P. 70	

エコツーリズム戦略 9. 具体的方策	2010 年度 (H22)				2015 年度 (H27)				2017 年度 (H29)			
	新規/継続	内容	白書掲載頁	備考	新規/継続	内容	白書掲載頁	備考	新規/継続	内容	白書掲載頁	備考
(5) 文化的資産等の活用  保全に留意しながら文化的資産等が活用されているか。	継	100 平方メートル運動地の土地取得完了	P. 7		新 継 2014-	「しれとこ森づくりの道 ホロベツルート」の開設 赤岩地区昆布ツアーの実施	P. 45 P. 53		新 継 2014-	「しれとこ森づくりの道 開拓小屋コース」の開設 赤岩地区昆布ツアーの実施	P. 44 P. 54	
(6) 利益の還元  観光利用によって得られた利益が地域の自然や社会に還元されているか。					継 2008- 継 2011- 継 2014- 継 2014-	厳冬期の知床五湖エコツアーの実施 知床五湖利用調整地区における住民還元キャンペーン ウトロ海域環境保全協議会の取組 赤岩地区昆布ツアーの実施	P. 73 - P. 62 P. 53		継/変 2008- 継 2011- 継 2014- 継 2014-	自主除雪による厳冬期の知床五湖エコツアーの実施 知床五湖利用調整地区における住民還元キャンペーン ウトロ海域環境保全協議会によるハンドブック販売益の保全活動への還元 赤岩地区昆布ツアーの実施	P. 54 P. 62 P. 54 P. 54	
(7) 施設整備  年次計画による計画的な施設整備が行われているか。	継 継	仮設携帯トイレブースの設置と状況調査 知床公園線災害防除事業（カムイワッカ） 知床公園線羅臼線防雪事業（相泊、瀬石） 一般国道 334 号斜里町岩尾別法面補修工事 イワウベツ川治山ダム改修工事 岩尾別カシワ林防鹿柵設置 羅臼岳岩尾別登山道保全管理	P. 89 P. 31-32 P. 29-30 P. 33-34 P. 47-48 P. 49-50 P. 89		新 新 新 新 新	羅臼岳岩尾別登山道保全修復工事 知床自然センター改修事業 相泊地区治山工事 知床連山登山道保全管理 羅臼岳登山道保全管理	P. 76-77 P. 79 P. 80-81 P. 71 P. 71		継 2015- 継 2015- 継 継 継	知床自然センター改修事業 相泊地区治山工事 オッカバケ川治山工事 一般国道 334 号羅臼町翔雲橋補修外工事 知床連山登山道保全管理 羅臼岳登山道保全管理	P. 83-84 P. 76-78 P. 78-79 P. 80-82 P. 71 P. 71	
(8) モニタリング  観光客の評価（満足度や感想など）やニーズ、行動特性の変化等がモニタリングされているか。	継 2004- 継	知床世界自然遺産地域の利用状況調査 ウトロ海域の利用動向調査	P. 8-23 P. 89		継 2004- 新 継 継 2013- 継 2014- 継 2014-	知床国立公園の利用状況調査 ヘリコプタークルージング騒音調査 知床半島先端部地区利用状況調査 羅臼海域の利用適正化に向けた調査 五湖冬季適正利用調査 知床沼植生モニタリング	P. 24 - P. 24 P. 62 P. 24 P. 64		継 新 継 継 2014- 継 2014-	知床世界自然遺産地域の利用状況調査 知床五湖利用適正化計画改定実験の実施 知床五湖地上遊歩道の植生調査の実施 知床半島先端部地区利用状況調査 五湖冬季適正利用調査 知床沼植生モニタリング	P. 46-52 P. 69 P. 70 P. 22 P. 56 P. 64	

**凡例**  
 新：新規の取組  
 継：継続的に実施されている取組  
 変：過去にも実施されているが、大きな変化があった取組

